

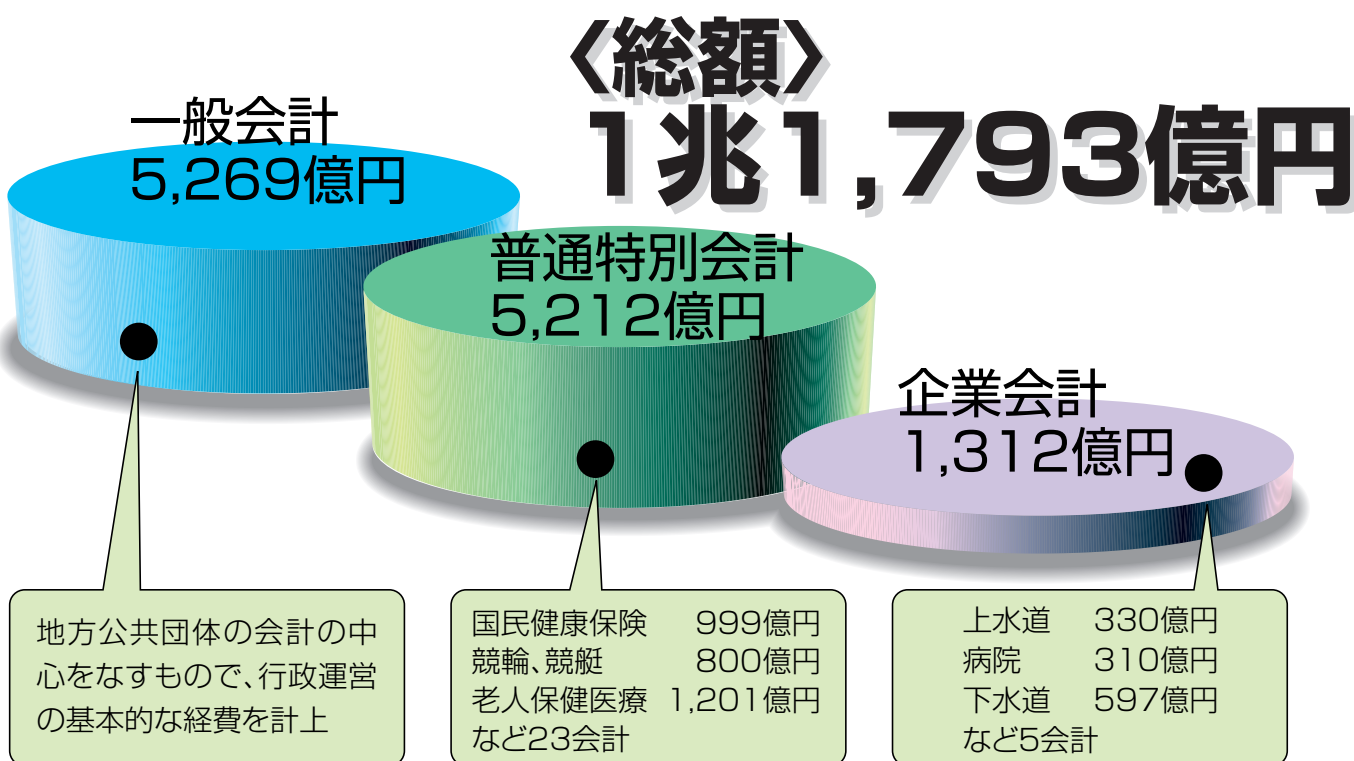
②北九州市平成15年度予算

1. 平成15年度当初予算の概要

北九州市では、「北九州市ルネッサンス構想」の実現へ向けて、様々な施策に取り組んでいます。

平成15年度予算は、「時代の変化と潮流を踏まえ、地域の活性化や身近な生活環境の充実を図る改革予算」として編成を行いました。また、「北九州市ルネッサンス構想第三次実施計画」の最終年度でもあり、その総仕上げを目指す予算に位置付けられます。

北九州市の予算は、一般会計・普通特別会計・企業会計の3つに区分されており、この3つを合わせみることで、市の行政全体の概要が分かります。



■予算総額と前年度比較

(単位：億円)

区分	平成15年度 当初予算額 a	平成14年度 当初予算額 b	比較 (a-b)c	増減率 $\frac{c}{b}$
一般会計	5,269	5,311	△42	△0.8 %
普通特別会計	5,212	5,297	△85	△1.6
計	10,481	10,608	△127	△1.2
企業会計	1,312	1,369	△57	△4.2
合計	11,793	11,977	△184	△1.5

51頁参照

2. 平成15年度当初予算の特徴

積極的な雇用の創出や 環境・教育・福祉など市民生活の充実を図る『改革予算』

平成15年度予算は、市の未来を見すえた施策と、地域経済の活性化や生活環境の充実などの身近な課題（教育・文化、福祉、環境など）に即応した施策を両立する改革予算となっています。

また、本市の厳しい景気情勢を考慮して、切れ目なく地域経済対策関連予算の執行が可能となるように、暫定予算ではなく「年間総合予算」として編成しました。

予算内容を主要な施策ごとに次の6つの柱で整理し、これらを中心に各事業を積極的に実行していくこととしました。

◎地域経済活性化の推進

出口の見えない厳しい景気の状態を踏まえ、緊急の課題である雇用確保の促進や地域経済対策に取り組めます。

・再就職トータルサポート事業	34,500千円
・地域再就職希望者支援訓練事業	30,000千円
・緊急雇用創出事業	1,229,200千円
・中小企業資金融資	45,573,000千円
・若松中心市街地商店街活性化事業	411,000千円
・「関門海峡ミュージアム」開館事業	395,000千円
等	

◎世界をリードする環境首都づくり

ヨハネスブルグ・サミットにおける成果を踏まえて環境施策を資源リサイクルから環境国際協力まで多面的に推進します。

・北九州市環境首都創造事業	9,600千円
・北九州エコステージ開催事業	25,000千円
・北九州エコタウン事業	234,573千円
・事業系ごみ等資源化・減量化対策事業	3,500千円
・(仮称)新・新門司工場建設事業	180,200千円
(他に債務負担	28,668,000千円)
・道路狭あい地域ごみ収集業務	62,000千円
等	

◎教育改革・文化の充実

学力の向上や教育環境の整備、文化の振興に取り組めます。

・少人数・習熟度別指導推進事業	184,000千円
・北九州 放課後なるほど教室	130,000千円
・「小さな国際人」育成事業	260,000千円
・教育改革の推進	25,200千円
・「北九州芸術劇場」の整備及び開館事業	1,664,571千円
等	

◎将来を見すえたソフト・ハードの基盤づくり

「国際物流特区」の推進や「学術研究都市」の充実、交通ネットワークなどの整備に取り組めます。

・国際物流特区推進事業	60,000千円
・学術研究都市共同利用施設等建設事業	1,519,500千円
・響灘大水深港湾整備事業	5,653,069千円
・ひびきコンテナターミナルPFⅠ調整事業	12,000千円
・新北九州空港整備地元負担金	596,014千円
・折尾地区総合整備事業	975,000千円
・室町一丁目地区市街地再開発事業の促進	5,406,560千円
等	

◎福祉環境の充実

総合的な少子・高齢社会対策や障害者施策の充実に取り組めます。

・乳幼児医療費支給制度の拡充	1,085,000千円
・児童館の充実	364,683千円
・(仮称)八幡母子寮 整備事業	332,200千円
(他に債務負担	611,552千円)
・支費制度体制準備事業	33,600千円
・精神障害者授産施設等通所者交通費助成	13,000千円
・小児救急医療の充実	115,321千円
等	

◎市民とともに進めるまちづくり

行政の透明度の確保や身近な施設のグレードアップ、バリアフリーのまちづくりに取り組めます。

・コールセンターの調査・研究事業	5,000千円
・公民館大規模改修事業	19,500千円
・子育てに配慮した公園整備	10,000千円
・生活道路等緊急整備事業	1,000,000千円
・市民バスネット事業	18,000千円
・(仮称)若松武道場の建設	22,800千円
・北九州市制40周年記念事業	10,000千円
等	

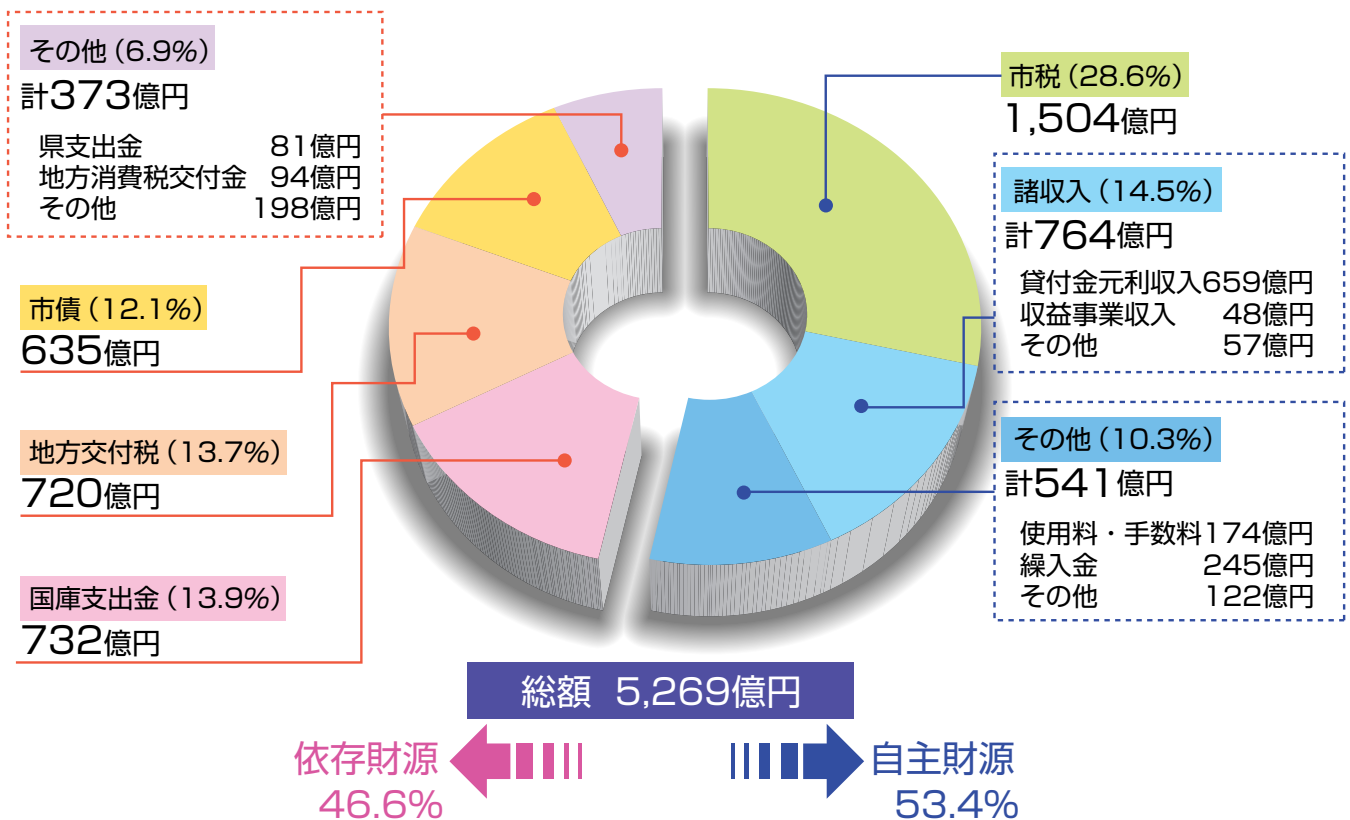
用語解説

- 一般会計 教育・ごみ収集・生活保護など、市の基本的な事業に関する会計です。
- 普通特別会計 国民健康保険など特定の事業を行うため、一般会計と区分して処理するための会計で、企業会計以外のものをいいます。
- 企業会計 水道事業や病院事業など、企業的な性格を持った事業を行う会計です。

3. 平成15年度一般会計予算の内訳

●歳入

■市民生活の向上のために様々な仕事（施策）が行われていますが、それを支えるためには、財源が必要となります。財源には市民税や固定資産税などの市税、自治体の財政力に応じて交付される地方交付税、国や県からの補助金、借入金である市債などがあります。

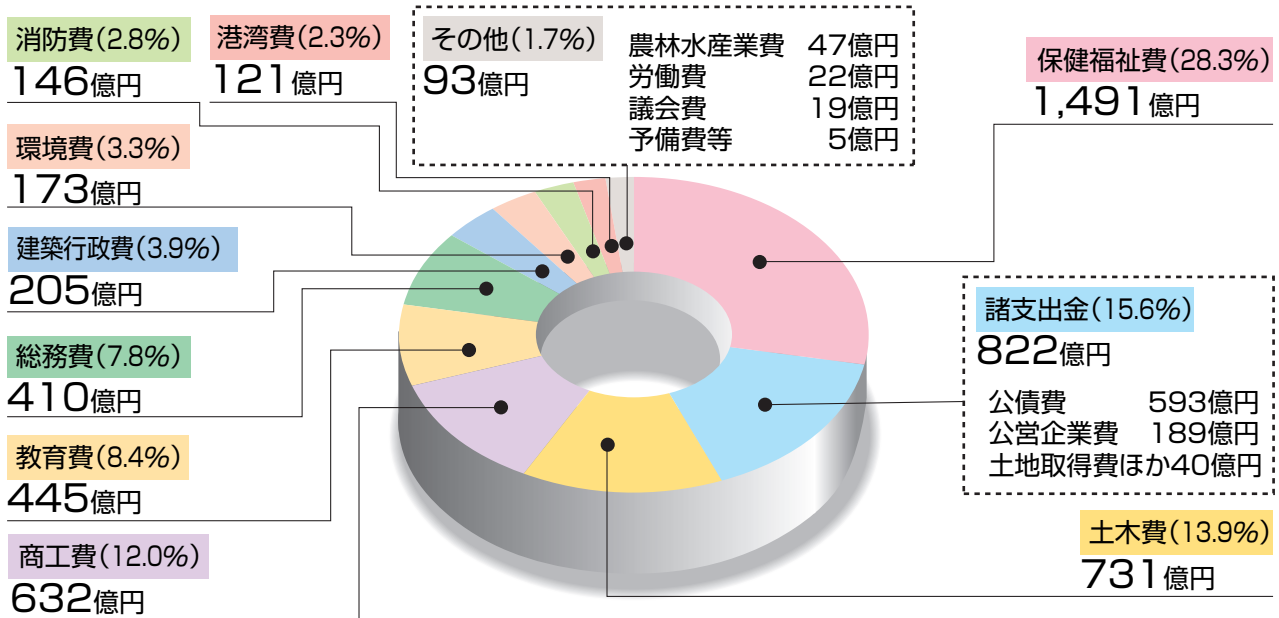


52頁参照

用語解説	歳入	歳出
	<ul style="list-style-type: none"> ●繰入金 財政調整基金や公債償還基金など各種基金の取り崩し等により、一般会計へ繰入れを行うものです。 ●収益事業収入 本市では、競輪事業、競艇事業及び宝くじ事業の3つの収益事業を行っています。各事業で得られた収益の一部を一般会計で行う各種施策の財源とするものです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●扶助費 生活保護費や保育所などの運営費、医療費の援助や各種手当の支給などに要する経費です。 ●公債費 市債の元金、利子の支払いに要する経費です。 ●物件費 学校など公共施設の光熱水費や管理運営経費、ごみ収集車両のガソリン代など、行政事務を行ううえで消費される経費です。 ●補助費等 公営企業や外郭団体、その他各種団体等に対する負担金や補助金などにかかる経費です。

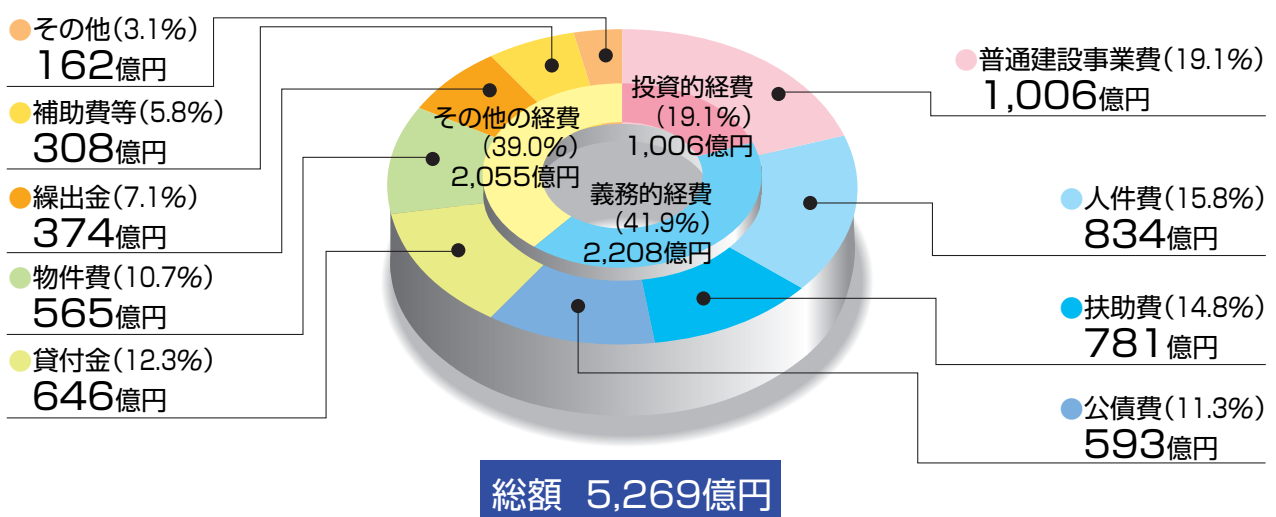
● 歳 出

■歳出をその行政目的別に分類すると、本市の予算がどの分野にどれだけ配分されているかがわかります。



53頁参照

■歳出をその性質別に分類すると、本市の財政構造がわかります。



54頁参照